



大山の恵みを受け継ぎ、  
元気な未来を拓くまちづくり

## 「誰もから愛される施設に」

12月2日（日）、高麗地区の新たな地域交流の拠点「ふれあいの郷かあら山」がオープンしました。（関連記事は4、5ページに掲載）

た  
広報  
か  
せ  
ん

1  
2013  
No.113

### 主な内容

新年のごあいさつ	2
鳥取大学連携	3
みんなでやらいや！まちづくり活動報告	4～7
きょういく通信	8～13
うるおい通信	14
人権のつぼ	15
診療所待合室・こころの健康コーナー	16
まちの話題	17～19
虐待をなくすために⑤・恵みの里だより	20
お知らせ	21～23

# 新年おめでとうございます



大山町長  
森田増範

あけましておめでとうございます。

皆様にはお元気で初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、東日本大震災をはじめ、全国各所に集中豪雨等災害が発生しています。被災地の一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

昨年11月、突然の衆議院解散を受け、12月には国民の審判により新体制が誕生。政経一体型の実践的で安定した国政を期待します。さて、町長就任以来、私は「国立公園大山から日本海まで有する大山の恵み、豊かな自然・歴史・文化・産業・人という財産を活かしたまちづくり」を掲げ、町民の皆様のご理

解ご協力を賜りながら、また民間力の活用を図りながら、町政の課題解決と町政発展における精力的に努めてまいりました。

平成24年度の具現化は、子育支援の拠点となる、中山みどりの森保育園・大山きやらぼく保育園の運営、どこの集落に住んでいても買い物・病院・福祉施設等へ行くことのできる「スマイル大山号」の運行、東日本大震災を受け自主防災組織の育成強化、放射線量測定器の設置、沿岸部の屋外向け防災無線・海抜標示板の設置、八頭町との災害応援協定締結、また命の源であるおいしい水を守る「地下水保全条例」の制定をいたしました。

個人住宅等改善助成事業は平成23年開始以来、現在まで利活用も多く、予算の追加補正を行つており、総事業額約7億円と町内経済活性に大きく貢献しています。

さらに、スポーツを通して若者等が集うにぎわい拠点施設として名和山香荘のリニューアル再整備事業を実施し、これから町内実践者等によるサポーター会議を立ち上げ、地域活性へ展開していきます。

大山恵みの里公社は平成23年度に黒字化、経営基盤が固まり、経営の安定化が進んでいます。現在、順調に運営されており、生産組織活動への取り組みを強化しています。

住民が主役のまちづくりとして重点的に進めている、村づくりやまちづくり地区会議の活動発な取り組みにより防災訓練や海岸一斉清掃、上中山地区・高麗地区では、アイデアを出し合い旧保育所を拠点とした地域づくりな

どが具体化し、また種原・押平・大山（坊領）地区の交流の場づくり事業や婚活グループの積極的な活動など町民による組織活動も活発化してきています。老人クラブや女性会の活動もすすんでいます。

今後これら一つ一つの取り組みをしっかりと根づかせ、さらに実らせていかなければなりません。

本町の基幹である農林水産業を骨太にして若者就業への取り組みを強化し、にぎわいある観光交流産業化へ大山ツーリズム（体験型）の強化・促進や企業誘致等による雇用創出。また、子育て支援充実へ名和地区拠点保育園の建設、高齢者等の福祉向上、そして地域自主組織の育成強化等を図つてまいります。

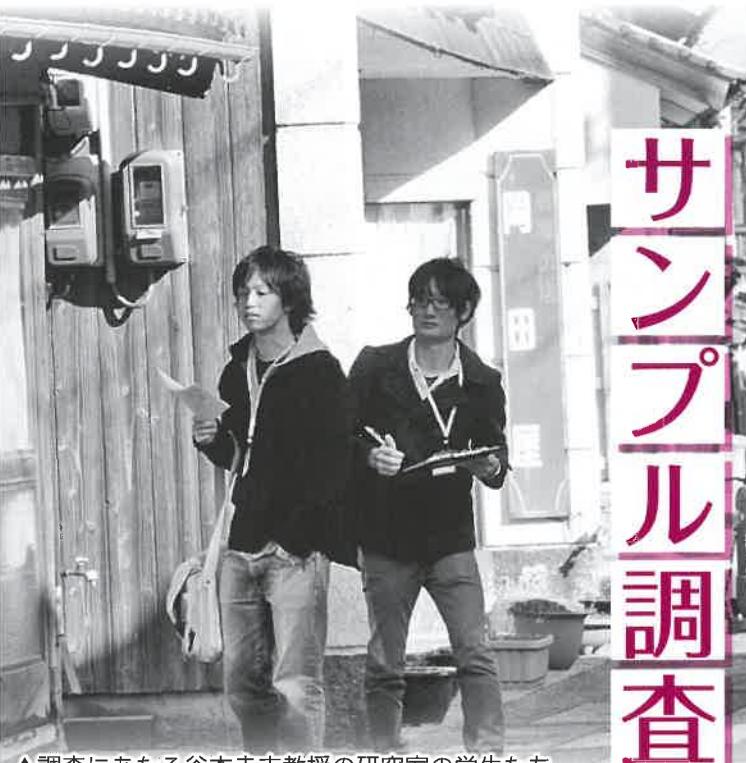
子育てしやすく、高齢者等安全で安心して暮らせる町、活力があり若者が住み続けたい町、若者定住をめざし、全力で取り組んでまいります。

町民の皆様のより一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

皆様にとりまして、幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ新年のあいさつといたします。

# 鳥取大学と連携(3)

## サンプル調査



▲調査にあたる谷本圭志教授の研究室の学生たち

今回は、企画情報課が鳥取大学と連携して取り組む「外出状況実態把握調査」についてお知らせします。

### お年寄りの身近な移動を支えるために

年を重ねても、健康（元気）な人は積極的に外出しています。大山町では、「年を取つても、健康状態を良好に維持し、潤いのある生活を送る」ために、自宅周りの移動など、高齢者の身近な移動問題に着目しています。

平成24年2月26日には、御来屋地区で行われた防災訓練にあわせて、シニアカー（1人乗りの電動4輪車）の導入の可能性について、実際に住民の方に試乗していただき、検討を行いました。

この検討を踏まえ、さらに身近な移動のニーズや課題などがないか、今後の取り組みのための基礎資料を得るために、鳥取大学（谷本圭志教授の研究室）と連携したサンプル調査を行うことになりました。調査は、土屋哲准教授、岩田千加良技術職員の指導のもと、学生約30人が11月12日から12月3日にかけて、旧奈和・押平・御来屋の3地区の調査対象世帯を1軒1軒訪問し、直接お話を伺う形で行いました。

調査にあたった学生たちにとっては、日ごろの大学での講義とは異なり、実際に現地に出向き、その時の状況に応じて、臨機応変に調査を行うなど、自分たちで工夫しながらの

実践的な学習の機会となり、大きな刺激にもなったようでした。

また大山町にとつては、今回の鳥取大学との連携で、専門的な助言や支援を受けることができ、今後の取り組みを検討していくうえで、大きな力を得ることができました。今後大山町では、今回のサンプル調査の結果報告を鳥取大学から受け、町はこの成果を高齢者の身近な移動に関するニーズや課題に関する具体的な施策等を検討する、ひとつの足がかりにすることとしています。

### 調査にあたった

#### 鳥取大学4年生・的場勇人さん

『先日の調査につきましては、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。住民の皆さんがあたたかい対応で、私たち学生も、当初の緊張を忘れて調査を行うことができました。おかげさまで、多くの情報が得られたと思います。

また、調査以外でも多くの住民の方とお話しができ、わずかな時間ながらも交流できたことをうれしく思います。

今回の調査が、皆様のより活動的な暮らしに役立つものとなれば幸いです』



的場さん



▲喜びいっぱいの除幕式の様子

# みんなで やらいや！

～まちづくり活動報告（第12回）～



高麗地区地域自主組織  
**「ふれあいの郷かあら山」発足**

## 拠点施設もオーブン！

高麗地区で「まちづくり高麗地区会議」が中心となり、旧高麗保育所を拠点として住民自らの手で地域づくりを実行する地域自主組織「ふれあいの郷かあら山」が設立されました。

12月2日（日）、旧高麗保育所で、設立総会と施設見学会が開催され、総勢約100名が参加し、地域自主組織の設立と、組織規約、まちづくり計画が承認されました。

旧高麗保育所は、ふれあいの郷から山（地域自主組織と同名）と名称を変え、高麗地区の皆さんとの交流の場、まちづくり活動の拠点として、お盆と年始年末を除き、9時から17時半まで開館されます。

おおむね旧小学校区を区域とし、住民の積極的な地域づくりの参加や集落の連携により地区全体の活性化を図るための組織。集落の参加と協力が不可欠です。

かあら山では、左の“三か条”を活動理念としています。

## 地域自主組織とは？

かあら山の活動は、4つの部会が担います。

### ①交流サロンの運営部会

年始年末、お盆を除く毎日9時から17時半まで営業。コーヒー、紅茶、お茶など100円より提供。軽食も提供できるよう計画されています。

### ②いきいき健康づくり部会

毎週金曜日13時から16時に活動。セラバンドを使った健康体操、DVDでの健康学習、介護の支え手への相談など。また、季節に応じたイベントが計画されています。

### かあら山三か条

#### 壹 かあら山の灯を消すな

細々とでも地道に活動を続けることが重要です。もし自らが灯をともすことが困難になった場合は、必ず次を担う方に灯をつなぎます。

#### 貳 高麗地区の

#### みなさんのために

事業の立上げや見直しにおいて迷つたときは、「高麗の皆さんのためになるか」という点に立ち返って最後の知恵を絞ります。

#### 参 明るく楽しく

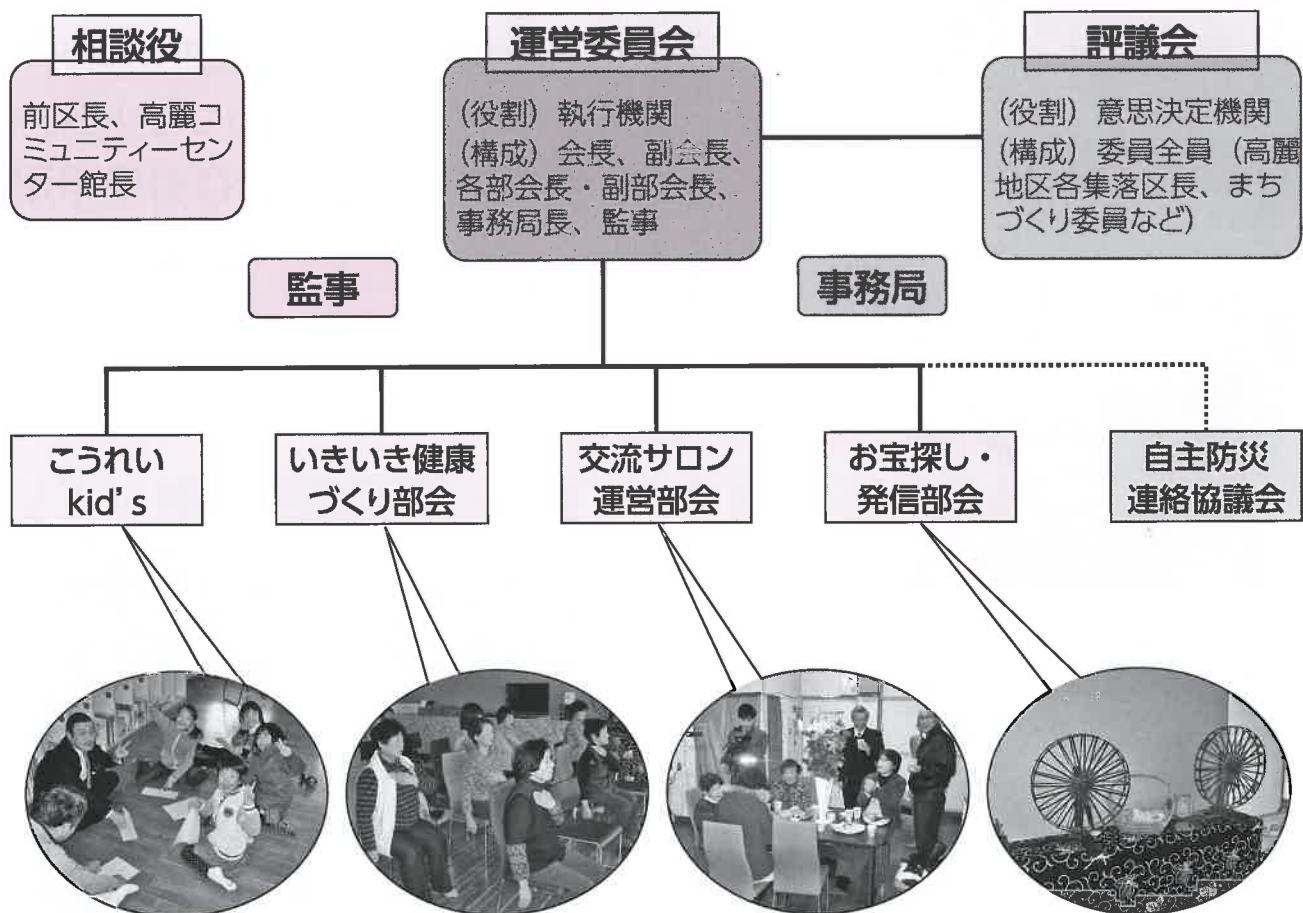
地域づくり活動は楽しくなければ続ません。できる範囲で、自分のためにも、明るく、楽しく活動します。

## かあら山の組織・活動

- ④お宝探し・発信部会
- 高麗地区の歴史、文化、伝承、習俗などの資料の収集、展示など。春には高麗地区史跡めぐりと山菜の会が行われる予定です。

平成25年1月号 4

## ふれあいの郷かあら山の組織



「勉強も遊びもできるよ」 「皆で健康になりますよ」 「ゆっくりお茶をどうぞ」 懐かしい「糸車」を展示

### 谷野保人会長のコメント

「ふれあいの郷かあら山」では、高麗地区住民の皆さんとの幅広い参画を得て、地区の活性化のための様々な活動を展開していきます。地区でできることや、行政よりも地区住民が担った方が一層充実する事業に対しては、積極的に取り組みたいと思います。

一方で、行政に対しては、役場職員が積極的に現場に出向き、住民と交わる中から地域の課題やニーズを汲み取り、より必要とされる分野や専門的な分野に、行政の力を集中することで、将来の大山町の持続的な発展の基盤を構築することに力を注いでいただきたいと思います。

**今の状況は?**

現在、交流サロンは毎日15人程度の利用があり、「コーラスを行いたい」とか、「麻雀はできないか」など要望もあります。こうれいキッズには夕方学校帰りの子どもたちが集まり大変にぎわっています。いきいき健康づくり活動では第1回目の健康新体操に20人程度の参加があり、施設全体に対し、徐々に人が集まる流れができつつあるようです。

今後は、高麗地区全体での自主防災の取り組みや、地元野菜の「直販所」を設けるなど、住民の皆さんに关心を持っていただけるよう取り組みが計画されています。

**《健康づくり》**

- ・ みんなと体を動かせることが楽しい。（60代女性）
- ・ 体を動かすだけでなく、みんなとお話できるのがいい。（60代女性）
- ・ ここで宿題をすれば家で親から「宿題しなさい」と言わない。（小学校3年生）
- ・ 家で一人で勉強するより、ここで友達と一緒にできるのがいい。（小学校3年生）

**《サロン》**





▲「解説をしてもらうとよくわかるね」



▶音読会に耳を傾ける参加者

まちづくり上中山地区会議では、旧上中山保育所を地区のまちづくりの拠点とする計画を進めており、地域住民が気軽に集える場として、さまざまな活動グループに利用してもらい、地域活性化に取り組んでいます。11月15日（木）には、「なかやま女性会議」主催で伯耆の白兎伝説にまつわる史跡を巡る「第1回 上中山を再発見する集い」が催されました。地元の歴史に詳しい秋田俊治さん（東積）の解説で、参加者は白兎の腰掛岩や鶯ノ宮神社跡地などを見学しました。散策後は、旧上中山保育所で、読みがたりボランティア「麦の会」による『伯耆の白兎』の音読会を

## 上中山地区 まちづくりの拠点 **「学びの里甲川」** オーフン

楽しみ、見学した史跡を振りかえりながら地元の伝説に思いを馳せていました。

最後は、全員で『ふるさと』を合唱して、上中山地区交流拠点の開所を祝いました。今後も地元の歴史文化を掘り起こし、再発見していく行事を展開し、まちづくりに取り組むことが計画されています。

また、12月1日（土）には「第1回上中山まちづくりの集い」が開かれました。集いには、地区会議が進める旧保育所の交流拠点化に賛同する方が集い、施設名称、管理運営及び利用規約が定められました。名称は、多数の応募作品とこの集いに参加された皆さんのが想いから、「学びの里 甲川」と名づけられました。

今後は、この施設を拠点に上中山地区のまちづくりが展開されます。皆さんのご参加ご協力をよろしくお願ひいたします。

### ホットお鍋で、和やかに **「大山秋の食婚」**

10月24日（土）、JA鳥取西部青壯年部 中山支部・名和支部主催で、町内で農業を営む独身男性と農業に興味を持つ町内外の独身女性を対象に、農業体験と鍋パーティーで男女の交流を深める「大山 秋の食婚」と題した婚活イベントが開催されました。

参加者は、総勢20人。和気あいあいの雰囲気で農作業をし、また、農業体験後の鍋パーティーでは、大山町で採れた食材を使った温かい鍋を囲みながら、気になる相手の連絡先を交換するなど、それぞれ活発な交流が行われました。

### 一般コミュニティ助成事業 **「除雪機」を導入しました！**



種原自治会と明間集落で除雪機が導入されました。これは、宝くじの社会貢献広報事業の一環として、財団法人自治総合センターが行う「一般コミュニティ助成事業」が活用されました。

両集落ともに12月の積雪時には、今回購入の除雪機が大活躍をしました。「早くオペレーター技術を上げて効率よく活用したい」など集落内の除雪に向けた出動態勢を整えておられました。



▲種原自治会



▲明間集落



## インタビュー

**種原自治会女性会  
代表 森田知津子さん**

この交流の場を利用し、集落全体を元気にしたいです。利用者自らが率先して運営に参加してくださり、いい流れができつつあります。支え合いの取り組みをとおしてにぎわいのある継続的な地域づくりを進めていきます。



▲昼食会に心のこもった“ごちそう”が並びました

## インタビュー

**交流の場 大山みらい塾  
塾長 遠藤道夫さん**

今後10年、20年と地域・集落を支えている団塊の世代の力が落ち込んでいく波を災害と考えています。元気なうちに自らの居場所を自分で確保するための避難訓練をこの交流の場を通して行いたいです。

少しずつ人の流れをつくり、この居場所を地域に定着させ、協力者を増やすことで継続できる体制作りを進めています。

◆問い合わせ先

企画情報課 未来づくり戦略室

☎ 0859-54-5202

FAX 0859-54-5216

# 地域住民が気軽に集える

## “交流の場”がオープン!

6月25日に開催された地域の支え愛・交流の場づくり研究会（広報「だいせん」8月号2ページ参照）をきっかけとして、地域住民の交流の場づくりの準備をされてきた種原集落と大山地区で先日、交流の場が開設されました。

11月7日（水）、種原多目的研修集会所を活用し、子どもからお年寄りまで自由に集え

る居場所がオープンしました。この日は、種原自治会女性会により「なめこ汁」や「おでん」「大山おこわ」など昼食会に提供する料理が準備され、参加者約20人に振る舞われました。この交流の場は月曜日と木曜日の週2回、朝から昼ごろまで開放されています。

オープンから1ヶ月が経過し、昼間はお年寄りの方が立ち寄り、児童も含めて常時15人程度が利用されています。今後は、男の料理教室やそば打ち、映画の鑑賞会などのイベントが企画されています。

## 交流の場 大山みらい塾

12月1日（土）、坊領集落の空き家（旧宮本商店跡地）を活用し、「交流の場

大山みらい塾」として、次世代の人材育成と地区住民との交流による地域活性化のための拠点がオープンしました。この日は「大山そばを普及する会」から「大山かおりそば」と「焼き芋」が振る舞われ、地区内外から約50人の方が集われました。

毎週火・木・土曜日は13時から17時まで、日曜日は11時

から17時まで開放されています。



▲「大山かおりそば」であたたまりました

## 平成24年度 全国学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします (続報)

広報「だいせん」12月号で「全国学力・学習状況調査」の結果概要をお知らせしましたが、今回は、その続報として特に、生活習慣や学習環境などに関する質問紙調査結果を中心にお知らせします。

### 質問紙調査から見える児童生徒の姿

質問紙調査において、県や国、過去5回の調査結果と比べて特徴的な傾向のある項目が見られます。

平成19年度から5回実施し

た結果、基本的生活習慣(表1)について、朝食を毎日食べている小学校6年生と中学校3年生の肯定的な回答割合

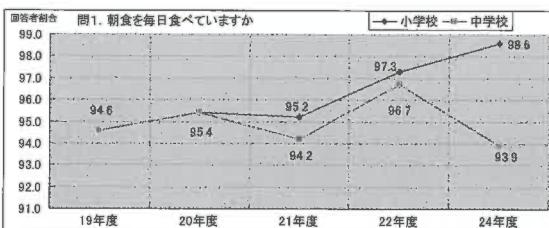
は、着実に上がっています。これは、PTA活動を中心とした取り組みや保育所・園などが連携をとった成果だと考

えることができます。

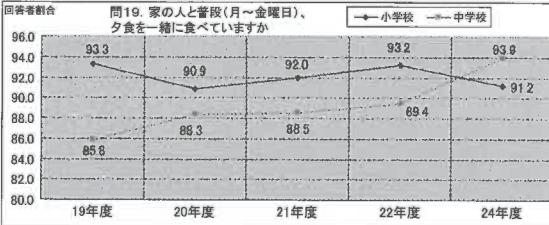
また、中学校3年生では、「家人の人と普段(月～金曜日)、夕食と一緒に食べていますか。

夕食を一緒に食べていますか。(表2)」という問い合わせに対して、肯定的な回答割合が年々上がっています。これに伴い、表からは、読み取ることはできませんが、家人の人と学校での出来事について話をしている中学校3年生の割合も平成19年度58.1ポイントから今年度は71.1ポイントになり、良好な結果となっています。

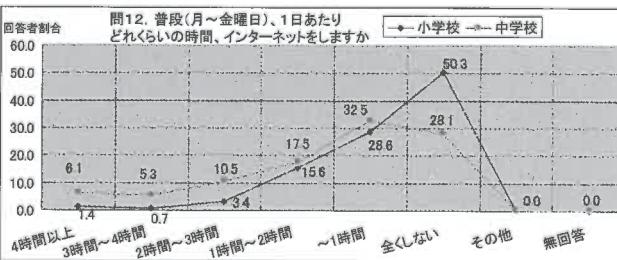
インターネットでのトラブルがニュース等で取り上げられていますが、平日のインターネット使用時間については1時間以上使用している小学校6年生が21.1%に対しても、中学校3年生が39.4%と高い結果となっています。有害サイト等についてフィルタリングをかけるなど、保護者の管理姿勢も大切になります。



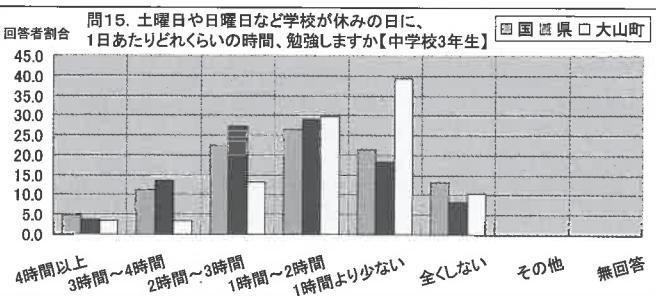
グラフ1



グラフ2



グラフ3

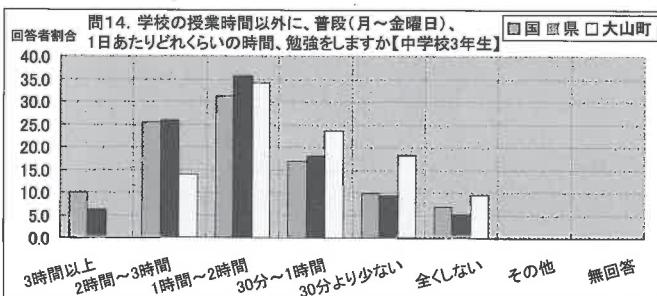


グラフ5

4) 平日の家庭学習時間(表)については、1時間未満の中学校3年生の割合は、県と比べて約19%高くなっています。小学校6年生のグラフは載せていませんが、1時間から2時間程度学習する小学6年生の割合も、県と比べて約3%低くなっています。また、中学校3年生では、「家人の人と普段(月～金曜日)、夕食と一緒に食べていますか。」(表2)という問い合わせに対して、肯定的な回答割合が年々上がっています。これに伴い、表からは、読み取ることはできませんが、家人の人と学校での出来事について話をしている中学校3年生の割合も平成19年度58.1ポイントから今年度は71.1ポイントになり、良好な結果となっています。

土曜日や日曜日など学校が休日の家庭学習時間(表5)について、2時間から3時間程度学習する中学校3年生の割合は、県と比べて約14%低く、3時間から4時間程度の割合が10%低くなっています。また、1時間未満の割合が、約21%と高い結果であり、大山町児童生徒の大きな課題となっています。

小学校の時期から家庭での学習時間や学習する教科、単元などを自分で決めて、集中して学習に取り組むことができるよう自主学習の仕方を身につけ、中学校進学以降も継続して自分で計画的に家庭学習を進めていく習慣づくりをしていく必要があります。



グラフ4



▲七夕飾り作り

司書さんに読み聞かせをして、たくさんの方に喜んでいただけました。

また図書館にも出かけて、暖かい日差しの中、みんなでおいしくおにぎりを食べました。

お待ちしています。

七夕の時期に、みんなで一緒に作った七夕飾りを室内の壁面に飾ると、子どもたちが寄ってきて「ぼくのはどれ」とうれしそうに自分や友だちの作品をさがす姿がとてもかわいいです。

七夕の時期に、みんなで一緒に作った七夕飾りを室内の壁面に飾ると、子どもたちが寄ってきて「ぼくのはどれ」とうれしそうに自分や友だちの作品をさがす姿がとてもかわいいです。

子育て支援センターは、子育て中の親子が気軽に遊び、親同士・子ども同士が交流できるところです。

## ほのぼのたいむ

### 子育て支援センターなかやま

子育て支援センターは、子わいかったです。

夏には牛乳パックで作つた

船やジョウロを使って、ビニールプールで水遊びを楽しみました。

また発泡スチロール

の魚に絵を描いたり、シール

を貼つた手作りのおもちゃで遊んだりもしました。

もらつたりしました。

セントラルなわで、名和公民館

サーカル発表会が開催されました。

11月25日（日）、保健福祉

セントラルなわで、名和公民館

サーカル発表会が開催されました。

## 名和公民館サーカル発表会

田代の成果を発表



▲手づくりおもちゃで水遊び

子育て支援センターは、どなたでも遊びに来ただけ

る施設です。「ちょっと時間みんなで協力して行いながらができたから遊びにいってみようかな」という気持ちで遠慮なく遊びに来てください。

▲木の話を真剣に聞く子どもたち  
講師はあけまの森、桑原さん

1週間家庭を離れて洗濯や掃除など、身の回りのことを学ぶことになりました。

大きな子は、小さい子に優しくすることや、玩具の貸し借りもできるようになりました。



▲決めポーズもばっちり!! (民謡クラブ)

## テメキュラに行って…

大山中学校 3年 清水九十九

僕は、テメキュラ研修でいろいろな体験をしました。その中で一番印象に残っている事は、ホストファミリーの家のホームステイ体験です。

僕は、小学校6年生の時にも、大山町と沖縄県嘉手納町との交流事業で、沖縄の人の家に泊めさせてもらったので、ホームステイ体験はありました。しかし、今回はアメリカなので、出発する前から一人でホストファミリーの家に泊まって、自分の英語が通じるかどうか、逆にホストファミリーの英語がわかるかどうかが、少し不安でした。

出発の1ヶ月くらい前に、テメキュラのホストファミリーから、父のパソコンにメールが届き、家族の紹介や英語が全く話せなくとも心配しなくて良いので、逢える日を楽しみにしているというような事が書いてありました。何回かメールで写真を送るなどしていくうちに、ホストファミリーの人達がとても近くに感じて、だんだんと早くテメキュラに行きたいと思うようになりました。

ホームステイ先でホストファミリーに折り鶴をプレゼントしたり、一緒に折ったりすると、とても喜ばれました。また、抹茶も土産用に持つて行った道具でたて、和菓子と一緒に出すと、とても喜んでくれました。

高さです。アメリカ人はとても美意識が高く、例えばごみ箱のデザインも地味だと市民から文句を言われるそうです。日本人はごみ箱なんて「捨てることができればデザインなんか気にしない。」と思っている人が多いと思うので驚きました。

3つ目は、家の中のことです。私はアメリカの家は靴を履いたまま上るので、一日中ずっと履

▶ 家族の一員として接してくれた  
ホストファミリー



テメキュラ研修では、ホストファミリーの方々にとてもお世話になりました。

彼らは、僕を日本からのお客さんとしてではなく、家族の一員として接してくれました。僕を含め家族揃って皆で食事をしたり、朝が弱い僕を毎日起こしにきてくれたり、夜寝る前にはホストマザーが家族にするのと同じように僕にハグをしてくれた事などがとてもうれしかったです。最後のお別れの時には、別れを惜しんで泣いてくれました。そして、ホストマザーが僕に手紙をくれました。そこには、「私達はあなたのアメリカのお父さんとお母さんなのでいつでも帰ってきてなさい。」というような事が書いてありました。いつの日か逢いに行きたいです。

僕はアメリカ研修で、いろいろな事を見ていろいろな事を経験しました。今はまだわからないけれど、この研修で学んだ事は、僕の人生できっと役に立つと思います。

きっぱなしだと思っていました。しかし、家には子どもたちの靴が脱ぎ捨ててあることが多く、みんなはだしで歩き回っていました。

アメリカでは、知らない人から話しかけられることが多いです。最初は必ずと言ってよいほど、“How are you?” から始まります。そして、答え方もほとんどの人が “Good How are you?” と言い、“Good Thank you” で终わります。アメリカへ来て3日目に、店員さんとスムーズにこの挨拶を交わすことができたときは、とても嬉しかったです。

この研修は私を大きく変え、視野を広げてくれたので参加して良かったと心から思います。来年も再来年も、たくさん的人がこの研修に参加し、テメキュラ市との交流が続していくことを願っています。

▶ 楽しかったファミリーファン



## テメキュラ市 訪問記③

7月25日から8月5日の日程で、大山町の姉妹都市アメリカのテメキュラ市を中学生8人が訪問しました。今回は、中山中学校3年生の柴田友理さん、大山中学校3年生の花房珠奈さん、清水九十九さんの感想文の一部です。



▶ホストファミリー宅にて

### 学んだことが多い アメリカ研修

中山中学校 3年 柴田 友理

私はアメリカのテメキュラ市と大山町との交流に参加し、自分の想像以上にアメリカと日本の違いがあり、とても驚きました。

私がアメリカで最初に感じた違いは、交通ルールなどに関するこでした。

空港から出て車まで移動する時に、横断歩道を渡りました。その横断歩道は、日本のようなボーダーのラインではなく、信号がいつ赤になるか分かるようにカウントダウンされるようになっていました。しかし、アメリカの信号機にいくらカウントダウンをする機能がついていても、信号が青になっている時間がとても短いので、赤になるまでに渡るということがとても大変でした。

また、アメリカの道路は、車線がとても多く、ロサンゼルスの高速道路は片側に8車線もあるらしくて、このテメキュラ市周辺にある高速道路なんて、とてもかわいいものだなと思いました。私が今回アメリカに行って初耳だった交通ルールは、

16歳で車の免許を取ることができるということです。私のホームステイ先の学生は、16歳だったので車の免許を持っていました。

私が一番印象に残ったことは、やはりホームステイでした。自分以外に日本人はいないということで、最初はホストファミリーとうまくコミュニケーションが取れるかどうかとても不安でした。

しかし、私のホストファミリーは、以前にも日本人の学生を受け入れたこともあり、私に対して、いろいろと気遣いをしてくださったので、思っていたより気楽に生活ができました。

ホームステイの8泊は、あっという間に過ぎました。別れる時に、もう会えないのだろうなと思うととてもさみしかったです。逆ホームシックになりそうなくらい、本当に楽しく生活をおくることができました。

今回、アメリカ研修に参加して、たくさんの体験ができる良かったです。アメリカという、日本とは異なる文化の中で生活をすることができる、自分の中での考え方などが少し変化した気がします。日本の良さや課題に気付けたので良かったです。この経験をこれから的生活に生かしていくたいと思います。

### アメリカ研修を終えて

大山中学校 3年 花房 珠奈

私は、アメリカへ行って、いろいろな面で成長したと思います。特に、一番心配だったホームシックには、一度もかかりませんでした。人前でスピーチをするのも、苦ではありませんでした。

学んだこともたくさんありました。その中で、特に印象に残っているのは3つあります。

1つ目は、アメリカの中学校についてです。ア

メリカの中学校のシステムは、日本の中学校と何もかもが違いました。まず、アメリカは「サマーバケーション」という、日本でいう「夏休み」が2ヶ月間もあります。新学期が始まる数週間前に、生徒は学校へ来て時間割を自分で考え申請します。許可をもらうと今度は図書室へ行き、申請した教科の教科書を借ります。教科書は書き込んだり、汚したり、破ったりしたら罰金を払わないといけません。教室はすべて移動教室で、自分のクラスや教室はありませんでした。

学んだことの2つ目は、アメリカ人の美意識の

## 練習の成果を発揮！

### 片木杯 青少年育成剣道大会

12月2日、大山中学校体育館を会場として青少年育成剣道大会が行われました。今回で24回目を迎えるこの大会は町内の株式会社片木アルミニューム製作所(片木威社長)からの寄付により運営されています。大会には県西部から約140人の小・中学生が参

加して日頃の鍛錬の成果を競いました。また、優勝から3位にはオリジナルで作成されたアルミ加工の盾が贈られました。

大会終了後には恒例の合同練習も行われ、参加者は指導者と一緒にさわやかな汗を流していました。



▲寄付金を贈呈する片木社長



▲会場内に熱気が漂います

## 熱戦を展開！ 町ソフトバレーボール大会

11月25日(日)に第8回大山町ソフトバレーボール大会が大山農業者トレーニングセンターで行われました。

当日は27チームが出場。熱戦を展開し、交流を深めました。

大会結果は次のとおりです。

### 大会結果

#### 【混合の部】

優勝 種原

準優勝 坊領A

3位 鳥取ロブスターC

#### 【女性の部】

優勝 プチバレンチ

準優勝 岡

## タスキをつなぎ、がんばりました！

### 町駅伝大会

11月18日(日)に第7回大山町駅伝競走大会が名和陸上競技場で行われました。

当日は一般から小・中学生まで37チームが参加し、寒風が吹きつける中、一本のたすきをつなぎ、抜きつ抜かれつの接戦を展開しました。

大会結果は次のとおりです。



### [一般男子の部]

#### 総合タイム

	チーム	タイム
優勝	名和RC	0:36:01
準優勝	大山走ろう会A	0:36:54
3位	トレイスSC 特攻隊 2012	0:40:33

※2km×5区間

### [一般女子の部]



#### 総合タイム

	チーム	タイム
優勝	大山RC	0:45:00
準優勝	大山西小MAMA Aチーム	0:45:53

※1.7km×5区間



▲一斉に元気よくスタート！

### [中学生男子の部] 総合タイム

	チーム	タイム
優勝	大山中駅伝部	0:37:08
準優勝	大山中駅伝部A	0:38:01
3位	名和中サッカー部	0:38:27

※2km×5区間

### [中学生女子の部] 総合タイム

	チーム	タイム
優勝	チーム Nawa-men	0:36:18
準優勝	大山中陸上部	0:40:19

※1.7km×5区間

### [小学生の部] 総合タイム

	チーム	タイム
優勝	大山陸上 A	0:34:01
準優勝	トレイスSC A	0:34:12
3位	DSN 48	0:36:37

※1.7km×5区間

# 第8回 生涯学習大会 兼 第6回 本のあるまちづくり大会

大山町では、食育推進計画を平成22年3月に策定し、「食育」関連施策を展開してきました。今年度は、特に「食の安心・安全の知識の普及」の推進に積極的に取り組んでいます。

また、本のあるまちづくり大会を同時開催し、本に親しんでいただける活動を推進します。

**日時 平成25年2月3日(日)**

**会場 保健福祉センターなわ**

○午前の部 10時～12時

◆百人一首大会 ◆わらべうたとおはなしの会



○午後の部 13時～16時15分

◆坂入姉妹の「野菜ソムリエの安心・安全 食育コンサート」  
◆パネルディスカッション



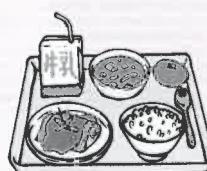
**坂入姉妹**

姉・坂入恵美（さかいりめぐみ）妹・坂入真紀（さかいりまき）による姉妹デュオ。大学在学中より、数々のコンクールで受賞。また姉妹で野菜ソムリエの資格を取得しており、食育コンサートをはじめ「童謡」「胎教」など幅広いプログラムで好評を博している。

○昼食は学校給食！ (1食 300円)

限定200食です。

1月18日(金)までに  
社会教育課へお申し込み  
ください。



○託児をします

ご希望の方は、1月18日  
(金)までに、社会教育課へ  
お申し込みください。



(主催) 大山町・大山町教育委員会

(共催) 大山町小・中学校PTA連絡協議会

◆問い合わせ先

社会教育課 ☎ 0859-54-5212

## 蔵書点検のお知らせ

下記の日程で、蔵書点検を行うため、この期間は休館となります。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、その間は、他の図書館をご利用くださいますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、点検期間中も、返却は受け付けますので、貸出期限の過ぎている本をお持ちの方は、早めの返却をお願いいたします。

## 蔵書点検って何？

図書館を利用するみなさんに、より迅速で快適なサービスを提供するために、図書館の資料を1冊1冊蔵書の確認をし、調査処理することです。

図書館すべての資料の在庫を確認するため、資料にはってあるバーコードラベルを機械で読み取っていき、最終的には所在不明の資料を探します。

**大山分館**  
1月21日(月)～23日(水)

**図書館本館**  
2月4日(月)～8日(金)

**名和分館**  
2月18日(月)～20日(水)

## 司書おすすめの本

## 『インフォグラフィクス原発』

エヌ・ゴンスター著 岩波書店

世界の原子力事情について、わかりやすくグラフィックで表した本。

「見ることもかぐことも触ることもできない放射能を“見える”ようにしたかった。」という著者の言葉どおり、「読む」というよりは、「見る」本と言えます。

世界の核実験と被爆地域、原子力発電依存率などのデータのみをインパクトのあるデザインで描写。福島原発にも触れています。

大学の卒業制作というこの本は、その年の「ドイツの最も美しい本」に選ばされました。(か)



## 1月の図書館行事

12日(土)

## 『夜の図書館おばけ話会』

18:00～18:30

図書館本館

26日(土)

## 『人形劇』

14:00～15:00

大山公民館

## 図書 のご案内

## 一般・文学

- ★七つの会議/池井戸潤
- ★スリジエセンター1991/海堂尊
- ★光琳ひと紋様/高任和夫
- ★恋しのぶ/鳥羽亮
- ★この君なくば/葉室麟
- ★西海の虎/矢野隆
- ★母性/湊かなえ
- ★図工準備室の窓から/岡田淳
- ★てんづく怒髪/落合恵子
- ★生まれてきてよかった/玉木幸則
- ★衣もろもろ/群ようこ
- ★あの雲を追いかけて/アレックス シラー

## その他

- ★赤ちゃんの幸せ吉名事典2013年生まれ/成田圭似
- ★中国王朝四〇〇〇年史/渡邊義浩
- ★拉致と決断/蓮池薫
- ★職場不適応症を知る本/渡辺登
- ★工具の本 総集編
- ★間抜けの構造/ビートたけし
- ★ムカつく相手にガツンと言ってやる大人の批判術/バルバラ ベルクハン
- 児童書・絵本
- ★小さいのが大きくて、大きいのが小さかったら/エビ ナウマン
- ★てくとこずんずん/マーガレット ワイズ ブラウン
- ★パオアルのキツネたいじ/蒲松齡
- ★川のぼうけん/エリザベス ローズ

# 人権のつば 90

大山町人権交流センター TEL 0859-54-2286  
大山町茶番 1077-3 FAX 0859-54-2413

## 進化する人権

12月4日から10日は、第64回人権週間でした。12月8日の「人権・同和教育研究大会」には、悪天候のなか参加していました。ご承知のように、この研究大会で講演予定でした中山千夏さんは、飛行機の欠航のために講演が中止となりました。改めて3月中に中山千夏さんの講演会を計画しておりますので、ご参加いただきますようよろしくお願いします。

この人権週間に関連して、今回は人権教育啓発推進センターの資料から、「人権の進化」についてお伝えしたいと思います。  
フランス人権宣言（1789年）の時代の人権は、「白人成人男性の人権」であり、「資産家の権利」の域を出ないものでした。そこでは、女性や子どもの人権までは含まれていませんでした。しかし、「世界人権宣言」（1948年）を契機として、人権は、あらゆる人々に普遍的に存在しているという考え方方が広がりました。現在では、人権は女性や子どもをはじめとして、性別、人種、民族、年齢や国籍等にかかわりなく、普遍的にあらゆる人に保障されなければなりません。また、第二次世界大戦以前は、人権は、一つの国の中の問題としてとらえられています。

人権は、もともと国家と個人の問題としてとらえられていました。しかし、近年では、企業は社会に対しても大きな影響を与える集団となってきたので、企業についても国家と同様にさまざまな人の人権に配慮し、尊重する責務があるとする考え方方が広まってきてています。

このように、人々の幸せを保障する人権は、時代や社会、人々の生活が変化していく限り、これからもさまざま広がりを見せていくでしょう。

1月の人権セミナーのテーマは「若年性認知症の早期発見を妨げている社会を考える」です。認知症に対する誤解や偏見、患者本人への不当な扱いや疎外など、若年性認知症に関わる問題を人権問題として捉えることが必要だと思います。たくさんの方々に参加していただき、学習を深めていきたいと思います。

（参考）「人権について考える 2012」

## 平成24年度（後期） 大山町みんなの 人権セミナー

### 日程および内容（第5回）

日 時	場 所	内 容
1月18日（金） 19:30~21:00	中山農村環境改善センター	<p>「若年性認知症の早期発見を妨げている社会を考える」 講師 藤田 和子さん（クローバーの会）</p> <p>☆主催者の声 藤田さんご自身の体験、認知症に対する誤解や偏見、そして患者本人への不当な扱いや疎外を恐れ黙って我慢してしまい早期発見の機会を逃してしまうことがあります。若年性認知症に関わる問題を、人権問題として捉えることが必要だと考えます。</p>

①託児（対象は小学校入学までのお子さん）を希望される場合は、開催日の4日前までにお子さんのお名前・年齢を添えて、人権推進課に申込んでください。

②手話通訳を希望される場合は、開催日の14日前までに人権推進課に申込んでください。

申込み先 大山町人権推進課（人権交流センター内）

TEL 0859-54-2286 / FAX 0859-54-2413

③この講座は、とっとり県民カレッジの連携講座です。

さまざまな人権問題を学ぶことを通じて、家庭、地域、職場、学校などのなかで一人ひとりの人権が大切にされるまちづくりを進めていきましょう。

※日程、内容などは講師の都合により変更になることがあります。

## 生命（いのち）について

大山口診療所  
久野 宣年

分子生物学者の福岡伸一さんは生命について次のように説明しています。「生命は自己複製するシステムであり、本質は動的平衡にある流れである」動的平衡とは常に変化しながらその形を保っている状態で、川の流れの中の渦のように水は流れても渦は同じ形を保つていてるように喻えることができます。

つまり生命は、もとの形を保ちながら常に変化し、成長する一瞬も制止しない活動で、しかもそれは、一方の時間に沿った活動であり、決して後戻りすることはありません。細胞は常に分裂し増殖しながら同時に破壊され消滅していきます。体の中で変化しないように見える骨や脂肪、脳の神経細胞に至るまで常に新しい細胞にとつてかわられ、数か月で一人の人間の細胞は分子レベルで考えると全く別の細胞に置き換わっているのです。

数万年前から続く祖先から、そして両親から受け継がれた細胞から一つの受精卵が生じ、分裂を繰り返し成長し

分子生物学者の福岡伸一さんは生命について次のように説明しています。「生命は自己複製するシステムであり、本質は動的平衡にある流れである」動的平衡とは常に変化しながらその形を保っている状態で、川の流れの中の渦のように水は流れても渦は同じ形を保つていてのように喻えることができます。

つまり生命は、もとの形を保ちながら常に変化し、成長する一瞬も制止しない活動で、しかもそれは、一方の時間に沿った活動であり、決して後戻りすることはありません。細胞は常に分裂し増殖しながら同時に破壊され消滅していきます。体の中で変化しないように見える骨や脂肪、脳の神経細胞に至るまで常に新しい細胞にとつてかわられ、数か月で一人の人間の細胞は分子レベルで考えると全く別の細胞に置き換わっているのです。



生命の流れがあるから怪我をしてもあります。自然治癒力が素直に現れればどんな病気、癌でさえも治していく可能性があります。生命の活動に影響を与えるものとしては食べ物や環境も大切です。

また生命の活動に力を与えるのは、自分の生命や他の生命を大切に思う意識であり、この意識が常に新しいエネルギーを体に運んでくれます。赤ちゃんを見ると生命の輝きを感じられます。静かに自分の中にある「いのち」の流れを感じてみてください。

のとれます。この活動は生命の流れに沿っています。この一瞬も止まることが正に死であり、この瞬間から細胞は崩壊、消失のみとなり新しい活動はなくなります。

ほ

## ほっとする 時間もたまに つくりましょ

(投稿してくださいました方 生田真理子さん)



(イラスト)  
長谷川由美さん

### 「こころの健康カルタ」の利用について

日々の暮らしの中で大事にしたい言葉や行動が読み札になっています。心の健康づくりの一環として、このカルタを保健課で貸し出しています。また、こころの健康カルタ普及員による普及活動もおこなっています。各種会合、地域の行事に活用してみませんか？

<心の健康カルタ、心の健康相談についての問い合わせ先>  
保健課 ☎0859-54-5206

### 疲れをためずに、ストレスに強い こころを持ちましょう。

こころの疲れをいつまでもためておくと、こころの健康状態は不安定になってしまいます。

日々の生活のちょっとした工夫が、こころの疲れをとることに役立ちます。

- 生活リズムを規則的にする
- 体をリラックスさせる時間を持つ

からだの緊張をほどくと、こころの緊張もほどけやすくなります。とくに眠る前に緊張をほぐすと、睡眠の質がよくなるという効果もあります。横になったり居心地のいい椅子に座ったりして、体とこころをリラックスさせる時間を作りましょう。

- 自分に合った趣味で気分転換をしましょう
- 「やらなくてはならない事」は書き出して優先順位をつける

厚生労働省「みんなのメンタルヘルス総合サイト」

こころの健康カルタ…心の健康について正しい知識を持っていただき、より健康になることを願って作成しました

## こころの健康コーナー

こころの健康に関する内容を掲載します。





▲表彰状を手にする荒金恵美子さん

## 栄養関係功労者知事表彰

11月8日（木）鳥取県庁で、荒金恵美子さん（佐摩）が栄養関係功労者知事表彰を受賞されました。

荒金さんが食生活改善推進員として20年以上、地域の子どもたちや高齢者を対象とした活動に積極的に取り組まれ、町協議会長や県組織の理事として運営に携わってこられた功績を称えられたものです。



▲西坪部落自主防災会議の  
松井和彦さん（中央）、岡田邦雄さん（右）

## 鳥取県自主防災組織等知事表彰

10月28日（日）、境港市で行われた「とっとり防災フェスタ2012」において、「西坪部落自主防災会議」が平成24年度鳥取県自主防災組織等知事表彰で功労表彰を受賞されました。

同会議は、各種訓練や講習のほか、集落各戸へ防災用品を紹介するなど地域防災力の底上げを図っていることや福祉施設と連携し、訓練協力や停電時の支援を行っていることが評価されました。



▲受賞された伊藤清さん

## 鳥取県教育委員会表彰

11月20日（火）、平成24年度鳥取県教育委員会表彰が鳥取県立図書館で行われました。

個人・団体の表彰があり、大山町からは個人功労者に元・長島と鳥取を結ぶ会代表の荒井玲子さん（明間）、大山口列車空襲被災者の会・前会長の伊藤清さん（富長）、鳥取県人権アドバイザー戸野祐太郎さん（新坪田）、教育功労団体に大山町スポーツ少年団が受賞し、表彰状と記念品が贈られました。



▲総理大臣からの祝状を手にする竹中八千代子さん（中央）

大正13年4月2日から大正14年4月1日までに生まれ、今年度中に88歳を迎える方（対象者141人）のご家庭や町内の福祉施設を、10月24日と25日に町長が訪問しました。

皆さんのお話から「元気の秘訣」は、趣味などの生きがいを持たれていることと、常に明るく前向きなお気持ちを持ち続けていることに尽きるようです。

また、この訪問に合わせて、

今年度中に100歳を迎える



▲赤川英代さん（左）と  
江原照子さん（中央）



▲谷野暁さん（左）



▲小篠英雄さん（左）と  
小篠數子さん（右）

祝  
米寿 & 百寿

おめでとうございます

れる方（対象者7人）に、内閣総理大臣からの祝状と記念品をお渡しして、ご長寿をお祝いしました。



▲大山チャンネルが密着取材！

NPO法人地域文化アーカイブスが主催する「第10回全国地域映像コンクール」において、大山チャンネルが取材・制作した「赤松荒神祭」が『審査員特別賞』を受賞しました。

「赤松荒神祭」は赤松地区

※NPO法人地域文化アーカイブスは総務省が進める地域文化デジタル化事業を積極的に推進する団体です。

1日から大山チャンネルで再放送しますので、ぜひご覧ください。

全国地域映像コンクールで審査員特別賞受賞  
～大山チャンネル～

で4年一度、うるう年に行われる伝統行事です。約1反りで作られた大蛇が集落内を練り歩く様子は圧巻です。

大山チャンネルの白石泰志制作スタッフは「映像を評価してもらつてうれしい。全國の人々に大山町の伝統文化を知つてもらうきっかけにもなる」と受賞を喜びました。

また、受賞を記念して1月

大山町と姉妹都市である広島県呉市で11月4日、「くれ食の祭典」が開かれました。

この祭典には、毎年出展して

おり、今年は『大山の恵みか

らす天狗市』のメンバーを中

心に総勢14人で大山町をPR

しました。

当日は天気もよく、多くの

来場者でにぎわい、神田のり

ンゴや大山ブロッコリーは、

あつという間に売り切れてしましました。手打ちの「大山そば」には、長い行列が切れ間なく続き、予定より多くのそばを販売することができます。

大山チャンネルが密着取材！

## 2012 くれ食の祭典

大山の恵み 大人気



▲大山そばに次々注文が入ります

島県呉市で11月4日、「くれ食の祭典」が開かれました。この祭典には、毎年出展しており、今年は『大山の恵みからす天狗市』のメンバーを中心総勢14人で大山町をPRしました。

当日は天気もよく、多くの来場者でにぎわい、神田のりンゴや大山ブロッコリーは、あつという間に売り切れてしましました。手打ちの「大山そば」には、長い行列が切れ間なく続き、予定より多くのそばを販売することができます。

大山チャンネルが密着取材！



▲大切に活用させていただきます

図書カード10万円分が贈られました。



▶目録を手渡す安武社長（右）

## 大山の保護に寄付金

大山ハム株式会社

11月16日（金）、米子市夜見町に本社を置く大山ハム株式会社（安武文雄社長）から「大山の環境を守るために役立てほしい」と森田町長が会長を務める「大山国立公園協会」に100万円の寄付が贈されました。

贈呈式で安武社長は「大山」は本当にいい名前。大山の名を使う会社として大山に貢献したかった」と話されました。





# 虐待をなくすために⑤

## 虐待を見逃さない

今まで4回の連載で、5種類の虐待（身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、放棄・放任、経済的虐待）と「セルフ・ネグレクト」について触れました。しかし、虐待している人にその自覚がなかつたり、虐待されてもその人がSOSを出さなかつたりすることがあります。周囲の人は、小さなサインでも見逃さないことが大切です。

### 虐待のサイン（例）

- ・回復の状態がさまざまに違う傷やあざがある。
- ・急におびえたり、怖がつたりする。
- ・周囲の人の体をさわるようになる。
- ・無力感、あきらめ、なげやりな様子になる。表情がなくなる。
- ・睡眠が不規則になる。夢にうなされる。
- ・食欲の変化が激しい。
- ・体から異臭がする、髪の汚れがひどい、爪が伸びて汚い。

- ・ずっと同じ服を着ている。
- ・学校や職場、施設などに出てこない。
- ・支援する人に会いたがらない。
- ・収入があるはずなのに身なりが貧しい。
- ・年金などの収入をどう管理されているか、本人が知らない。
- ・など

一見、本人の問題行動にみえる行動の背景に、虐待があるかもしれません。お気づきのときはぜひ、ご相談ください。

## 大山恵みの里だより vol. 59

問い合わせ先  
大山恵みの里公社  
☎0859-54-6600

### 道の駅で「わいわい恵み市」

11月23日、道の駅大山恵みの里では、町内生産者・事業者の方々による「わいわい恵み市」が開かれました。

当日は先着100名様に大山町産の野菜がたっぷり入った「恵み汁」が振る舞われました。販売会場では、朝どれの新鮮野菜や卵を積んだ軽トラ市、御来屋の魚介類、たい焼き・たこ焼き・焼きそば・コロッケ・お漬け物など、おいしい食べ物が勢揃い。お客様は生産者との会話を楽しみながら買い物をされていました。



▶ 「おいしい食べ方は?」  
生産者とのやり取りも軽  
トラ市ならではの光景

### 大山恵みの里公社 年末年始営業について

★道の駅1月2日(月)の初売りでは、恒例のぜんざいのお振る舞い、福袋の販売を行います。どうぞお出かけください。

	12/27(木)	12/28(金)	12/29(土)	12/30(日)	12/31(月)	1/1(火)	1/2(水)	1/3(木)	1/4(金)
--	----------	----------	----------	----------	----------	--------	--------	--------	--------

施設	道の駅	通常営業	通常営業	通常営業	10~17時	休	休	★ 初売り 10~17時	10~17時
	みくりや市	通常営業	通常営業	~14時まで	休	休	休	休	通常営業
	本部事務局	通常業務	仕事納め	休	休	休	休	休	通常業務
	農産加工場	通常業務	仕事納め	休	休	休	休	休	通常業務
配達	配送:米子便	通常配達	通常配達	年内最終	休	休	休	休	通常配達
	配送:岡山便	年内は12月21日(金)が最終。H25年再開日は別途調整。							

## 発泡スチロール も

### 町指定分別 ごみ袋で！

発泡スチロールを町の収集に出されるときは、町指定分別収集用ごみ袋（青字）に入れていただきこととなっています。トロ箱など大きなものは切るなどして袋に納め、袋の口を閉じてください。

ただし、油や泥汚れなどがひどく、洗っても落ちないものは、可燃ごみ（赤字の指定袋へ）として出してください。

ごみの分別と減量に、ご理解とご協力をお願いします。

◆問い合わせ先  
ごみ出しは決められた場所に朝8時までに！

☎ 0859-54-5210

住民生活課

本町では、安心して子どもを生み、育てることができる環境づくりの一環として、不育症の検査・治療を受けている夫婦に対して、高額となる保険適用外の医療費負担を軽減するため、費用の一部を助成します。

### 不育症の 検査・治療に対する 助成を始めました



#### 1 助成内容

検査・治療に要した金額の2分の1とし、1年度につき10万円を限度とします。

#### 2 対象となる方

法律上の婚姻をしているご夫婦であること

ご夫婦の一方、または双方が1年以上継続して町内に住民登録してある方

他の市町村から同様の給付を受けていない方

町税等の滞納が無い方

社団法人日本生殖医学会が認定した生殖医療専門医が所属する医療機関において、不育症と診断され、治療を受けている方

#### 3 対象となる治療

この助成制度は平成24年4月1日以後に終了した検査・治療が対象になります。

#### ◆問い合わせ先

☎ 0859-54-5206

保健課



た方は、ぜひこの機会に受けられますようご案内します。  
なお、健康診査・胃がん検診・乳がん検診は、人数に限りがありますので事前に予約が必要です。ご希望の方は保健課へご連絡ください。必要書類等につきましては、「平成24年度大山町各種健診（検診）について」をご参照ください。

### 健(検)診の追加のお知らせ

日 時	場 所	内 容	予約締切 定員になりしだい締め切れます。
1月30日(水) 8時～10時	中山農村環境改善センター	健康診査 胃がん検診 肺がん検診 大腸がん検診 前立腺がん検診 肝炎ウイルス検査	1月25日(金)
2月 6日(水) 8時～10時	保健福祉センター だいせん	上記の内容に加えて、 乳がん検診、子宮がん検診も実施	2月 1日(金)
2月26日(火) 8時～10時	保健福祉センター なわ		2月22日(金)

第5回  
大山学講座

# そば打ちに 挑戦しよう！

第5回の大山学講座は、そば打ち体験です。

大山産そば粉を使用したそば打ち体験をとおして大山の恵みを味わおう。

自分で打ったそばの味は格別です。そば打ちがはじめての方でも大歓迎です。気楽にご参加ください。

◆日 時 1月27日(日)

9時30分～13時

◆場 所 保健福祉センターだいせん 調理実習室

◆指導者 大山そば普及する会のみなさん

◆参加費 300円

◆準備品 エプロン、三角巾、タオル

◆募集人数 20人

◆申込締切 1月18日(金)

※定員になり次第締め切ります。

◆申込・問い合わせ先

大山公民館 ☎ 0859-53-3003



▲一緒にしませんか？

## 新しい保護司に

麹谷 昭久さん

杉原 雄嗣さん

12月1日付で麹谷さん、杉原さんの  
お二人が新たに保護司として法務大臣から委嘱されました。

犯罪や非行を未然に防ぐための犯罪予防活動や、犯罪・非行をした人の立ち直りを支える地域ボランティアとして、対象者やその家族などをサポートしていただきます。



麹谷昭久さん (上万)



杉原雄嗣さん (富長東)

▶小橋雅明中国運輸局長から表彰状を受け取る小西正記副町長



### 国土交通省中国運輸局長表彰受賞

乗降場所によっては、積雪状況によりスマイル大山号が指定の乗降場所まで行けないこともあります。このようない場合は、予約時に予約センターと予約される方との相談のうえ、臨時に乗降される場所を決めさせていただきますので、ご了承ください。

### 積雪時の 集落乗降場所について



予約センター（通話無料）

**0800-200-4894**

受付時間 7:30～18:30

※日・祝・12/31～1/3は休みます

## 「スマイル大山号」からのお知らせ

スマイル大山号の導入で、これまで約13トン（11月末推計）のCO<sub>2</sub>が消滅されました。

「スマイル大山号」は大山町の環境を守るために、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)等を全く排出しない電気自動車を使用していくまです。この取組みが、国の進め等の環境保全に寄与したとして、平成24年11月22日、国土交通省中国運輸局長より表彰を受けました。

1

2013. January



# 広報だいせん 大山町行事カレンダー

主な連絡先

- 大山町役場 (本庁)  
TEL 0859 - 54 - 3111 (代表)  
総務課 TEL 0859 - 54 - 5201  
税務課 TEL 0859 - 54 - 5208  
住民生活課 TEL 0859 - 54 - 5210  
会計課 TEL 0859 - 54 - 5209  
企画情報課 TEL 0859 - 54 - 5202  
議会事務局 TEL 0859 - 54 - 5213  
**中山支所**  
TEL 0858 - 58 - 6111 (代表)  
総合窓口課  
戸籍・住民関係 TEL 0858 - 58 - 6114  
福祉関係 TEL 0858 - 58 - 6112  
農林水産課 TEL 0858 - 58 - 6116  
農業委員会 TEL 0858 - 58 - 6115  
地籍調査課 TEL 0858 - 58 - 6113  
**大山支所**  
TEL 0859 - 53 - 3311 (代表)  
総合窓口課 TEL 0859 - 53 - 3311  
建設課 TEL 0859 - 53 - 3186  
観光商工課 TEL 0859 - 53 - 3110  
財大山恵みの里公社 TEL 0859 - 54 - 6600  
**名和分庁舎**  
水道課 TEL 0859 - 54 - 5204  
**人権交流センター**  
人権推進課 TEL 0859 - 54 - 2286  
**保健福祉センターなわ**  
保健課 TEL 0859 - 54 - 5206  
福祉介護課 TEL 0859 - 54 - 5207  
地域包括支援センター TEL 0859 - 54 - 2226  
**福祉センターなかやま**  
TEL 0858 - 49 - 3000  
**保健福祉センターだいせん**  
TEL 0859 - 39 - 5018  
**中山農村環境改善センター**  
TEL 0858 - 58 - 6124  
**教育委員会**  
学校教育課 TEL 0859 - 54 - 5211  
幼児教育課 TEL 0859 - 54 - 5219  
社会教育課 TEL 0859 - 54 - 5212  
**教育研究所**  
TEL 0859 - 54 - 5221  
**中山公民館**  
TEL 0858 - 58 - 2334  
**名和公民館**  
TEL 0859 - 54 - 2688  
**大山公民館**  
**所子分館**  
TEL 0859 - 53 - 3003  
**大山分館**  
TEL 0859 - 54 - 2070  
**小・中学校**  
中山小学校  
TEL 0858 - 58 - 2439  
名和小学校  
TEL 0859 - 54 - 2070  
**大山西小学校**  
高麗分館  
TEL 0859 - 53 - 3228  
**大山小学校**  
TEL 0859 - 53 - 4167  
**町立図書館**  
TEL 0858 - 49 - 3010  
**名和分館**  
TEL 0859 - 54 - 2688  
**大山分館**  
TEL 0859 - 53 - 3003

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	2月 1	2

日程詳細:

- 1月30日(月) 元日  
元旦マラソン 10:00~ 名和神社
- 1月31日(火) 成人式 13:30~ 保健福祉センターなわ
- 2月1日(水)
- 2月2日(木)
- 2月3日(金)
- 2月4日(土)
- 2月5日(日)
- 2月6日(月) 3B体操 9:30~11:00 保健福祉センターなわ  
農業委員相談日 13:30~15:00 中山支所
- 2月7日(火) お茶サロンひだまり 10:00~11:30 子育て支援センターなわ
- 2月8日(水) 人権相談 9:00~12:00 人権交流センター  
13:00~16:00 大山公民館  
行政相談 9:30~12:00 名和公民館  
13:00~16:00 大山公民館  
保育所開放日 10:00~11:00 各保育所・保育園
- 2月9日(木) デイケア 13:30~15:30 保健福祉センターだいせん
- 2月10日(金) 3B体操 9:30~11:00 中山農村環境改善センター  
保健福祉センターだいせん  
育児学級 10:00~11:30 子育て支援センターなかやま
- 2月11日(土) 百人一首第3回練習会 10:00~11:00 名和公民館  
夜の図書館おばけ話会 18:00~18:30 図書館本館
- 2月12日(日)
- 2月13日(月) 成人の日  
行政相談 9:30~12:00 福祉センターなかやま  
心配ごと相談 9:30~12:00 各福祉センター  
ほのぼのたいむ 10:00~11:30 子育て支援センターなかやま  
農業委員相談日 13:30~15:00 名和公民館
- 2月14日(火) 赤ちゃんサロン 10:00~11:30 子育て支援センターなかやま
- 2月15日(水) 健康相談 13:30~14:00 (受付) 保健福祉センターなわ
- 2月16日(木) 3B体操 9:30~11:00 中山農村環境改善センター  
保健福祉センターだいせん  
育児学級 10:00~11:30 子育て支援センターだいせん  
大山町みんなの人権セミナー 「若年性認知症の早期発見を妨げている社会を考える」 19:30~21:00 中山農村環境改善センター
- 2月17日(金)
- 2月18日(土)
- 2月19日(日)
- 2月20日(月) 3B体操 9:30~11:00 保健福祉センターだいせん  
認知症の人と家族の会 10:00~12:00 中山農村環境改善センター
- 2月21日(火) お茶サロンひだまり 10:00~11:30 子育て支援センターなわ
- 2月22日(水) 法律相談 9:30~11:30 保健福祉センターだいせん  
保育所開放日 10:00~11:00 各保育所・保育園
- 2月23日(木)
- 2月24日(金)
- 2月25日(土)
- 2月26日(日)
- 2月27日(月) 仮装して滑走大会 11:00~14:00 だいせんホワイトリゾート中の原エリア
- 2月28日(火) 認知症の人と家族の会 14:00~15:30 保健福祉センターだいせん
- 2月29日(水) おはなしの会 10:30~11:30 子育て支援センターなわ  
乳児栄養相談 13:45~15:00 保健福祉センターなわ
- 2月30日(木)
- 2月31日(金) どんぐり広場 10:00~11:30 子育て支援センターだいせん
- 2月1日(土) 3B体操 9:30~11:00 中山農村環境改善センター

\*子どもの健診・予防接種・各種がん検診の日程は裏面をごらんください。

1月1日～2月10日までのお知らせを載せています。

## 子どもの健診・予防接種のお知らせ

種別	月日	場所	受付時間	対象	その他
健診	歯科健診 フッ素塗布	1月28日(月) 保健福祉センターなわ	13:00～13:30	1歳～小学校就学前の幼児（6か月に1回受ける）	歯のアンケート、フッ素手帳、歯ブラシ、コップをお持ちください
予防接種	B C G	1月29日(火) 保健福祉センターなわ	13:00～13:30	3か月～6か月未満の未接種者	個人通知します

## 心の健康相談・事業のお知らせ

種別	月日	場所	時間	内容
デイケア	1月10日(木)	保健福祉センターだいせん	13:30～15:30	書初め
	1月25日(金)	保健福祉センターなわ	10:00～13:00	調理実習
	2月7日(木)	保健福祉センターだいせん	13:30～15:30	運動＆ゲーム

心の病気をお持ちの方が、家から一歩出て交流や活動のできる場です。

## 健康づくり、健康相談、介護予防教室のお知らせ

種別	月日	場所	時間	内容
3B体操	1月11日(金) 1月18日(金) 2月1日(金)	中山農村環境改善センター	9:30～11:00	ストレッチ体操、ペル・ペルター・ボールを使って音楽にあわせ体を動かします。
	1月7日(月) 1月21日(月) 2月4日(月)	保健福祉センターなわ	9:30～11:00	運動のできる服装で水分をお持ちになり、お出かけください。
	1月11日(金) 1月25日(金) 2月8日(金)	保健福祉センターだいせん	9:30～11:00	骨密度測定、骨に関する相談。医師・保健師・栄養士による各種疾患の相談。どなたでも利用できますのでお出かけください。
健康相談	1月17日(木)	保健福祉センターなわ	(受付) 13:30～14:00	骨密度測定、骨に関する相談。医師・保健師・栄養士による各種疾患の相談。どなたでも利用できますのでお出かけください。
認知症の人と家族の会	1月21日(月) 1月28日(月)	中山農村環境改善センター 保健福祉センターだいせん	10:00～12:00 14:00～15:30	介護で疲れていませんか？日頃の悩みを話し合い、励まし合う時間を持ちましょう。お気軽にご参加ください。

## その他の教室・相談のお知らせ

種別	月日	場所	時間	対象	内容
ほのぼのたいむ	1月15日(火)	子育て支援センターなかやま	10:00～11:30	保育所(園)に行っていない親子	「木のおもちゃであそぼう」 講師：木やさん (定員20組)
育児学級	1月11日(金)	子育て支援センターなかやま	(受付9:45～)	保育所(園)に行っていない親子	絵本の読み聞かせ
	1月18日(金)	子育て支援センターだいせん	10:00～11:30	保育所(園)に行っていない親子	季節のあそび
乳児栄養相談	1月29日(火)	保健福祉センターなわ ※B C G 予防接種の場で行います	13:45～15:00	3か月～1歳児の保護者	離乳食のミニ講話、栄養士、保健師の相談

☆あそびにおいてよ！大山町地域子育て支援センター  
利用時間 月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）  
9:00～12:00  
13:00～16:00

中山みどりの森保育園 子育て支援センター TEL0858-58-6062  
大山きららぼく保育園 子育て支援センター TEL0859-53-1157  
大山町ふれあい会館 子育て支援センター TEL0859-54-2395

○子育て中のふれあいの場として、保護者同伴で自由に楽しむことができます。  
○行事はどなたでも参加できます。  
○いつでも子育て相談できます。（個別相談：申込みが必要です。）

## 問い合わせ・相談先

☆子どもの健診・予防接種、健康診査、各種がん検診、健康相談、心の相談、健康づくりなどに関する事は保健福祉センターなわ内 保健課  
TEL 0859-54-2226  
FAX 0859-54-5087

☆介護保険、介護予防などに関する事は保健福祉センターなわ内 地域包括支援センター  
TEL 0859-54-5207

## 鳥取県西部広域行政管理組合の入札 参加資格及び入札 案件公表について

鳥取県西部広域行政管理組合が発注する指名競争入札に参加するには、組合を組織する市町村（米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町）のいずれかで、指名競争入札に参加する資格を有することが必要です。入札参加資格をお持ちでない場合は、いずれかの市町村で手続きをしてください。

なお、組合の入札案件は、組合ホームページ (<http://www.tottori-seibukoiki.jp/>) にて公表されます。

### ◆問い合わせ先

鳥取県西部広域行政管理組合事務局総務課

FAX 0859-56-3152  
☎ 0859-22-7722



▲みんなさんの参加をお待ちしています！

## 一緒に走りませんか!! 元日マラソン大会

新年の幕開けをマラソンで！みんなでさわやかな汗を流しましょう。

初詣をしてからスタートします。

### ◆日時

1月1日（祝）

午前10時集合

### ◆場所

名和神社駐車場発着

### ◆コース

2km（新坪田周回コース）  
6km（トレセン往復コース）

### ◆その他

参加料は無料で、事前申込みも不要です

### ◆問い合わせ先

教育委員会 社会教育課

☎ 0859-54-5212

## 軟式野球大会結果

優勝はチュパカプラス

11月4日（日）、第8回大

山町軟式野球大会が名和野球場で行われ、6チームが参加しました。決勝戦は、チュパ

カプラスとリツツが熱戦を繰り広げ、8-1でチュパカプラスが勝利し、見事優勝を果たしました。

大会結果は次のとおりです。

優勝 チュパカプラス  
準優勝 リツツ

## 休まず営業! 「ゆーゆー俱楽部ナスバル」

なかやま温泉ゆーゆー俱楽部ナスバルは、年末年始も休まず営業しています。新年を迎えるにあたり、ゆつくりとお風呂でおくつろぎください。

なお、正月三が日は毎日、大人の方を対象に先着100名様に粗品を、子どもたちにはお菓子をお渡します。  
**\*1月1日は、正午営業開始**

### ◆問い合わせ先

なかやま温泉  
ゆーゆー俱楽部ナスバル

☎ 0858-49-3330

デジタル 113ch  
アナログ 3ch

●テレビの電子番組表（EPG）  
と大山町ホームページで内容をご確認いただけます。

番組以外の時間帯は、文字情報で行政情報を提供しています。番組の内容は都合により予告なく変更することがありますのでご了承ください。

**1月  
1日～31日**

## 大山チャンネル 番組放送予定

### ●番組開始時間

放送期間	番組開始時間	5:50 / 11:50 / 14:50 / 19:50	6:00 / 12:00 / 15:00 / 20:00 / 24:00	7:00 / 13:00 / 16:00 / 21:00 / 25:00
1月 1日～1月10日				
1月11日～1月20日	【大山賛歌体操】 介護予防編 健康づくり編		じげとぴっく1月号1 じげとぴっく1月号2 じげとぴっく1月号3	じげとぴっく12月号3 じげとぴっく1月号1 じげとぴっく1月号2
1月21日～1月31日				

### 【年末年始特別番組のご案内】

12月29日～1月10日放送

#### ●大山小学校学習発表会6年生劇

「67年の時を経て伝えたいこと」(45分)

[時間] 10:00/17:00/22:00

#### ●平和を願う歌とピアノコンサート(40分)

[時間] 11:00/23:00/26:00

1月1日～1月20日放送

#### ●大山町総合文化祭2012ダイジェスト(30分)

[時間] 9:00/14:00/19:00

#### ●2013じげとぴっく1月号パート1特別付録

第10回全国地域映像コンクール「審査員特別賞」受賞記念放送

「赤松荒神祭」(平成24年) (11分30秒)

◆問い合わせ先 企画情報課情報管理室 ☎ 0859-54-5202



優秀賞 田總恭子 (下市駅前)



優秀賞 増井忠子 (植松)



大山町では、道ゆく人が楽しめるような四季折々の花づくりをしておられる団体・個人の方々を表彰する「花づくりコンクール」を行っています。みなさんも花作りを楽しめませんか?



景観賞 唐王スセリヒメの会



優良賞 ふれあい茶論弥生の風



優良賞 福見育子 (上萬)



グリーンカーテン賞  
笠見金子 (松河原)



優良賞 名和小学校



優良賞 栄田部落

いかに?  
（ひろ）  
まずは「神だのみ」。そして、  
おみくじで今年の運を占いま  
す。さて、平成25年の運勢は  
るから不思議です。  
う」という気持ちが湧いてく  
冬の空気を吸つて鳥居をくぐ  
ると「新しい一年をがんばろ  
詣」。冷たくてキンつとした  
私の楽しみはやつぱり「初

「親類との宴会」「箱根駅伝」「とにかくのんびり」  
とにかくのんびり

### 編集後記



## 今月の税 ・保険料

納期限

**1月31日(木)**

※期限までに納めましょう

- ・町県民税 (4期)
- ・国民健康保険税 (4期)
- ・介護保険料 (4期)
- ・後期高齢者医療保険料 (4期)



大山町広報1月号 No.113  
◆発行 大山町役場  
◆編集 企画情報課  
\* e メール kikaku@daisen.jp

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-5216

大山町ホームページ <http://www.daisen.jp/>

◆印刷 有限会社米子プリント社

毎月10日は  
ノーレジ袋デー

私たちのまち (12月1日現在)

○人口: 17,736人 (-31)

男: 8,462人 (-17)

女: 9,274人 (-14)

○世帯数: 5,799世帯 (-8)



この印刷物は  
大豆インキを使用しております。

この広報紙は、環境に配慮した  
再生紙を使用しています。